

都市型国際展と美術館

ヨコハマトリエンナーレ2011と

あいちトリエンナーレ2010を振り返る



ヨコハマトリエンナーレ2011

- 1 テワール & ジッケル
《無題》
2007 / 2011
Courtesy the artists
撮影：木奥恵三
- 2 ウーゴ・ロンティノーネ
《our magic hour》
2003 / 2011
Courtesy the artist and Galerie Eva
Presenhuber, Zürich
©the artist
撮影：木奥恵三

トリエンナーレ学校ではこれまで、横浜トリエンナーレボランティアスタッフであるサポーターを対象に、「ヨコハマトリエンナーレ2011」や現代アートについての理解を深め、サポーター活動へつなげる実践的プログラムを行ってきました。今年度最後のトリエンナーレ学校となる今回は、「都市型国際展と美術館」をテーマに、横浜美術館にて特別シンポジウムを開催いたします。



2012年3月17日〔土〕14:00-16:00

会場

横浜美術館 円形フォーラム 横浜市西区みなとみらい3-4-1

パネリスト

拝戸雅彦

あいちトリエンナーレ2013キュレーター
愛知県国際芸術祭推進室主任主査

逢坂恵理子

ヨコハマトリエンナーレ2011 総合ディレクター
横浜美術館館長

天野太郎

ヨコハマトリエンナーレ2011キュレトリアル・チーム・ヘッド
横浜トリエンナーレサポーター事務局
横浜美術館首席学芸員

あいちトリエンナーレ2010

- 3 西野達
《転がる愛知》
2010
撮影：福岡 栄
- 4 草間彌生
《命の足跡》
2010
名古屋テレビ塔、オアシス21
撮影：怡士鉄夫

都市型国際展と美術館

ヨコハマトリエナーレ2011とあいちトリエンナーレ2010を振り返る

2011年、第4回の開催で初めて横浜美術館を主会場のひとつとした「横浜トリエンナーレ」と、愛知県美術館と名古屋市美術館の2つの公立美術館を主会場とし2010年に初めて開催された「あいちトリエンナーレ」は、美術館を主会場にすること、まちを舞台に広げながら市民協働を展開する等、お互いに共通したスキームを持っています。本シンポジウムでは、「あいちトリエンナーレ2010」よりキュレーターを務める坪戸雅彦氏をパネリストに迎え、こうした枠組みや活動を通じ、都市型国際展の今後の在り方を検討しながら、次回2014年開催予定の「横浜トリエンナーレ」へとつなぎます。

日時：2012年3月17日〔土〕14:00-16:00

会場：横浜美術館 円形フォーラム

参加費：無料

定員：100名〔事前申込制・先着順〕

パネリスト

坪戸雅彦

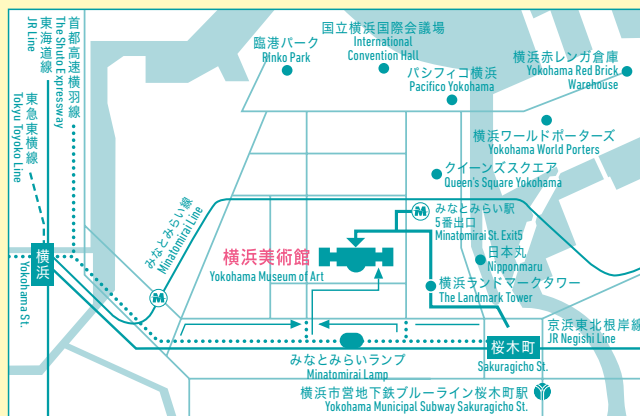
あいちトリエンナーレ2013キュレーター／愛知県国際芸術祭推進室主任主査

逢坂恵理子

ヨコハマトリエナーレ2011総合ディレクター／横浜美術館館長

天野太郎

ヨコハマトリエナーレ2011キュレトリアル・チーム・ヘッド
横浜トリエンナーレサポーター事務局長／横浜美術館主席学芸員



横浜美術館：横浜市西区みなとみらい3-4-1

みなとみらい線：みなとみらい駅下車、5番出口から徒歩5分

JR線、横浜市営地下鉄線：桜木町駅下車〔動く歩道〕を利用、徒歩10分

あいちトリエンナーレとは

2010年に愛知でスタートした「あいちトリエンナーレ」は、現代美術を中心に、パフォーマンス、映像プログラムなどジャンルを複合した国際展です。第1回は、建畠哲芸術監督のもと「都市の祝祭 Arts and Cities」をテーマに愛知芸術文化センター、名古屋市美術館を主会場に、長者町会場、納屋橋会場などのまちなか展開も行い、57万人を超える来場者がありました。

今回は、芸術監督に五十嵐太郎氏〔東北大学大学院工学研究科教授〕を迎え、「揺れる大地ーわれわれはどこに立っているのか：場所、記憶、そして復活」をテーマに2013年の夏から秋に開催予定です。

<http://aichitriennale.jp/>



KOSUGE1-16
《長者町山車プロジェクト：かたい山車》
2010
撮影：石田亮介

横浜トリエンナーレとは

現代美術の国際展である「横浜トリエンナーレ」は、2001年に開始して以来、横浜の都心臨海部の施設や屋外広場を会場に、2005年、2008年、2011年とこれまでに4回開催し、のべ140万人以上の来場者を迎えています。

ヨコハマトリエナーレ2011は、「みる」「そだてる」「つなげる」の方針のもと、横浜美術館と日本郵船海岸通倉庫を主会場に「OUR MAGIC HOURー世界はどこまで知ることができるか？ー」をテーマとした展覧会を開催するとともに、各種関連プログラムを実施しました。また、市内のアートNPO主催による「BankART LifeIII 新・港村～小さな未来都市」や「黄金町バザール2011」との特別連携など、創造都市・横浜の資源を活かした地域連携を図りました。

<http://www.yokohamatriennale.jp/>



ウーゴ・ロンディノーネ
《月の出、東》
2005
Courtesy the artist and Galerie Eva Presenhuber, Zürich
©the artist
撮影：木奥恵三

お申し込み方法・お問い合わせ：横浜トリエンナーレサポーター事務局

E-mailもしくはFAXにて、件名に「トリエンナーレ学校シンポジウム参加希望」、本文に「①氏名 ②電話番号 ③サポーター登録有無」をご記入の上、下記までお申込みください。定員に達し次第、申込みを締め切らせて頂きます。

E-mail: info@yokotorisup.com FAX: 045-681-7606

TEL: 045-325-8654〔10:00-18:00 土日祝休〕 URL: <http://www.yokotorisup.com/>